



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月8日

上場会社名 三ツ星ベルト株式会社 上場取引所 東
コード番号 5192 URL <https://www.mitsuboshi.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 浩
問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 塩津 康司 TEL 078-685-5630
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	22,443	9.2	1,591	△21.5	2,320	△28.5	4,438	102.5
2024年3月期第1四半期	20,549	△0.2	2,027	△5.5	3,246	8.1	2,191	7.2

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 4,038百万円 (△46.7%) 2024年3月期第1四半期 7,580百万円 (58.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	156.45	—
2024年3月期第1四半期	77.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	135,368	98,740	72.9
2024年3月期	135,627	98,247	72.4

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 98,740百万円 2024年3月期 98,247百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	125.00	—	125.00	250.00
2025年3月期	—				
2025年3月期（予想）		90.00	—	90.00	180.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	45,000	7.1	4,400	6.3	4,100	△26.9	6,100	69.8	214.95
通期	88,500	5.3	9,050	16.6	8,600	△10.5	9,300	30.9	327.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細については、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成 に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	31,104,198株	2024年3月期	31,104,198株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	2,736,032株	2024年3月期	2,736,032株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	28,368,166株	2024年3月期1Q	28,354,656株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、緩やかな回復基調で推移しているものの、世界的な物価高や各国の金融引き締め継続、中国経済の低迷、地政学的リスクの長期化など、多くの課題に直面しました。先行きについても、これらの課題が継続するうえ、米国景気不安も加わり、益々不透明で予断を許さぬ状況が続くことが見込まれます。

このような環境のなか、変化にぶれない強い企業体質の確立を進め、2030年度の「ありたい姿」の実現に向け、2024年度から2026年度までの3年間を計画期間とする「'24中期経営計画」を2024年5月14日に公表いたしました。当該期間を成長加速期間として収益性、資本効率性、設備投資額、株主還元、ESGの各々にKPIを設定し、これらの達成に向け取り組んでおります。

その結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高22,443百万円（前年同期比9.2%増）、営業利益1,591百万円（前年同期比21.5%減）、経常利益2,320百万円（前年同期比28.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益などが寄与し、4,438百万円（前年同期比102.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

〔国内ベルト〕

自動車部品分野では、新車向けにおいて一部カーメーカーの認証不正問題に伴う生産停止の影響により販売が低調でしたが、トラックなどの補修市場向けにおいて販売が好調であったため、売上高が増加しました。

産業機械分野では、他社からの切替えによって搬送ベルトの販売が好調でしたが、射出成型機用や半導体・液晶製造装置用の伝動ベルトと合成樹脂素材の販売が低調であったため、売上高が減少しました。

その結果、当セグメントの売上高は6,933百万円（前年同期比0.6%増）、セグメント利益は2,226百万円（前年同期比6.1%増）となりました。

〔海外ベルト〕

自動車部品分野では、補修市場向けにおいてアジアの市中在庫の調整と景気低迷の継続の影響を受け販売が低調でしたが、新車向けにおいて中国・米国の四輪車電動ユニット用やインドの二輪車後輪駆動用の販売が好調であったため、売上高が増加しました。

産業機械分野では、OA機器向けにおいて東南アジアの販売が好調でしたが、補修市場向けにおいて市中在庫の調整と景気低迷の継続の影響を受け販売が低調であったため、売上高が減少しました。

その結果、当セグメントの売上高は12,175百万円（前年同期比10.2%増）、連結子会社の事業整理に伴う費用計上によりセグメント利益は457百万円（前年同期比29.4%減）となりました。

〔建設資材〕

建築防水向けでは大規模工場の屋根防水改修工事によって、売上高が増加しました。土木遮水向けでは廃棄物処分場などの超大型の工事物件が寄与し、売上高が増加しました。

その結果、当セグメントの売上高は1,917百万円（前年同期比42.7%増）、セグメント利益は88百万円（前年同期比120.0%増）となりました。

〔その他〕

報告セグメント以外のその他には、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、電子材料、仕入商品などが含まれております。電子材料分野では、データセンタ用のメタライズ加工基板の大口受注や、導電性ペースト材の国内外での新規顧客開拓により、売上高が増加しました。

その結果、その他の売上高は1,416百万円（前年同期比11.9%増）、セグメント利益は50百万円（前年同期比48.7%減）となりました。

(注) 上記の各セグメントにおける売上高は外部顧客への売上高を記載しており、セグメント利益はセグメント間取引消去前の金額を記載しております。

なお、セグメント利益は、営業利益ベースの数値であります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末は、流動資産が3,139百万円増加、固定資産が3,398百万円減少したことから、総資産は前連結会計年度末比259百万円減少の135,368百万円となりました。

負債は、流動負債が598百万円増加、固定負債が1,351百万円減少したことから、前連結会計年度末比752百万円減少の36,627百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が892百万円増加、その他の包括利益累計額が399百万円減少したことから、前連結会計年度末比492百万円増加の98,740百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の72.4%から72.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年5月14日に公表いたしました内容に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,855	36,959
受取手形、売掛金及び契約資産	17,712	19,003
商品及び製品	18,309	18,194
仕掛品	2,861	3,156
原材料及び貯蔵品	4,440	4,340
その他	1,060	1,714
貸倒引当金	△131	△121
流動資産合計	80,107	83,247
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,049	9,724
機械装置及び運搬具（純額）	10,370	11,471
工具、器具及び備品（純額）	2,361	2,411
土地	4,004	4,021
リース資産（純額）	1,420	1,600
建設仮勘定	3,251	2,056
有形固定資産合計	30,458	31,286
無形固定資産		
ソフトウェア	453	374
のれん	88	82
その他	83	82
無形固定資産合計	625	539
投資その他の資産		
投資有価証券	22,614	18,387
繰延税金資産	1,352	1,418
その他	477	498
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	24,435	20,295
固定資産合計	55,519	52,120
資産合計	135,627	135,368

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,033	9,413
短期借入金	3,303	3,303
未払法人税等	1,805	1,542
賞与引当金	885	1,688
製品保証引当金	495	523
その他	7,209	7,859
流動負債合計	23,731	24,330
固定負債		
長期借入金	3,000	2,750
退職給付に係る負債	2,085	2,243
役員退職慰労引当金	18	8
その他	8,544	7,294
固定負債合計	13,648	12,297
負債合計	37,380	36,627
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,150	8,150
資本剰余金	2,111	2,111
利益剰余金	68,088	68,981
自己株式	△4,868	△4,868
株主資本合計	73,481	74,374
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,700	11,680
為替換算調整勘定	10,047	12,671
退職給付に係る調整累計額	17	14
その他の包括利益累計額合計	24,765	24,366
純資産合計	98,247	98,740
負債純資産合計	135,627	135,368

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	20,549	22,443
売上原価	14,224	16,039
売上総利益	6,324	6,403
販売費及び一般管理費	4,297	4,812
営業利益	2,027	1,591
営業外収益		
受取利息	86	121
受取配当金	249	255
為替差益	697	407
その他	247	73
営業外収益合計	1,282	858
営業外費用		
支払利息	16	11
固定資産除却損	29	116
その他	17	1
営業外費用合計	62	129
経常利益	3,246	2,320
特別利益		
投資有価証券売却益	—	3,402
移転補償金	—	358
特別利益合計	—	3,760
税金等調整前四半期純利益	3,246	6,080
法人税等	1,055	1,642
四半期純利益	2,191	4,438
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,191	4,438

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	2,191	4,438
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,289	△3,019
為替換算調整勘定	3,094	2,623
退職給付に係る調整額	4	△3
その他の包括利益合計	5,388	△399
四半期包括利益	7,580	4,038
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,580	4,038
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表及び連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	976百万円	1,245百万円
のれんの償却額	6百万円	5百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	国内 ベルト	海外 ベルト	建設資材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,890	11,049	1,343	19,283	1,265	20,549	—	20,549
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,999	528	1	3,528	542	4,071	△4,071	—
計	9,890	11,577	1,344	22,812	1,807	24,620	△4,071	20,549
セグメント利益	2,097	647	40	2,785	97	2,883	△856	2,027

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備機械、他社仕入商品、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、電子材料、サービス事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△856百万円には、セグメント間取引消去58百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△914百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	国内 ベルト	海外 ベルト	建設資材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,933	12,175	1,917	21,026	1,416	22,443	—	22,443
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,625	541	5	4,172	185	4,357	△4,357	—
計	10,558	12,717	1,923	25,199	1,601	26,800	△4,357	22,443
セグメント利益	2,226	457	88	2,772	50	2,822	△1,231	1,591

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備機械、他社仕入商品、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、電子材料、サービス事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△1,231百万円には、セグメント間取引消去△224百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,006百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。